

ダイヤモンド富士を撮る やっと巡ってきました

富士山の山頂から太陽が昇ってくる様子をダイヤモンド富士、月が昇る様子をパール富士と呼んで、写真撮影の絶好の被写体となっています。(沈むほより昇るほうが有り難みを感じるのが不思議。)

我が家から富士山までの距離は約220kmあり、富士山頂の高度(仰角)は幾何学的には0度なのですが、大気による光の屈折や標高の関係で水平線を超えて遠くを見通すことができ、伊勢湾の向こうにある知多半島の山々や赤石山脈の向こうに富士山の山頂部分を臨むことができます。これまでも冬の夜明け前などの空気が澄んでいる時期に富士山を遠望するのを楽しみにしていたのですが、だんだん欲が出てきて、せっかくならダイヤモンド富士やパール富士を見たいとチャンスを伺うようになりました。

我が家から見た富士山は、真東から北周りに22度の位置にあって、ダイヤモンド富士は夏至の前後に観望のチャンスが2回めぐってきます。この時期、太陽の赤緯は1日あたり、0.25度くらい変化するので、太陽の昇る位置も地平線上を0.3度くらいずつ移動していきます。富士山の山頂の平らな部分の幅はみかけ0.2度程度なので、ほんの1日で太陽(直径0.5度)との位置関係が崩れ、見栄えが随分と変わってしまいます。ちなみにパール富士の場合は、さらに1日あたりの赤緯変化が大きいので、目的の構図になるかどうかは運が伴い、まさに千歳一瞬であります。

ではその日はいつなのか、この辺は良くしたもので奇抜な人がフリーで使いやすいソフトを提供してくれていて、私の場合は、d_Fujiというソフトを便利に使用しています。このほかにもいくつかあるのですが、一部には精度の怪しいソフトもあるので、特に遠距離からのシミュレーションの場合は要注意です。残念ながらパール富士をシミュレーションしてくれるソフトは(今のところ)ネット上には見当たらないため、ステラナビを使ってトライ&エラーで確認をしています。

さて、予報ソフトによると、今年第1回のダイヤモンド富士は5月11日となりました。前日にはカメラを整え準備万端、早寝をして、珍しくも翌日は夜明け前に自然と目が覚めました。ベランダに出てみると、空は見事な快晴で、既に肉眼で富士山が見えています。年に数日もないような透明度の高い空がこの日にやってくるとはとても幸運でした。

ベランダにカメラをセットし、待ち構えていると、やがて日出の時刻を迎え、富士山の左肩から太陽の光が漏れてきました。徐々に右上方向に太陽が移動し、やがて鏡餅のように山頂に太陽が乗っかる姿となり、思い描いていた富士山の日の出となりました。写真も動画もしっかり撮れて作戦完了であります。

さて次回2回目のダイヤモンド富士は8月2日で、この頃も天候が比較的安定しているので、うまく見ると嬉しいなあと考えています。

ところで、先日、5月22日のローカル新聞夕刊三重で、市内のYさんが今までにない素晴らしいダイヤモンド富士(氏が名づけるには「王冠富士」とのこと)の写真が撮れたことを紹介する記事が掲載されていました。同氏はとてもアクティブに活動されており、日々、富士山の背後から太陽が昇る場所を追いかけて海岸沿いを移動して撮影しているということで、待ちの姿勢の私とはえらい違いです。

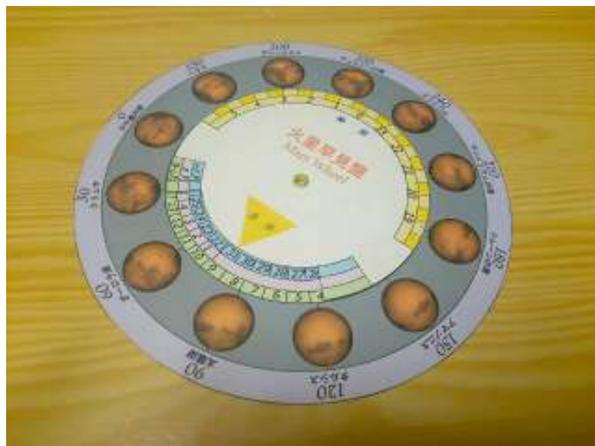


メカが大好き 火星早見盤 2018バージョン

夜半前になると東の地平線からオレンジ色に明るく輝く火星が昇るようになり、いよいよ大接近が近づいてきたと感ずるようになってきました。毎度、火星の接近の時期には、観望の補助に使うための早見盤を製作して、過去の原板を再利用し、火星像の入替えと日時の再計算を行って、写真のような感じに仕上がりました。ただ、毎回同じものを作っても進歩が無いので、いま見えている場所（中央経度付近）がどのあたりなのか枠外に地名を記載して、観望の際の照らし合わせできるように一味加えました。

こういったことをするシミュレーションソフトはパソコンやスマホにもいろいろあるのですが、今どこが見えているかというのを調べるには便

利でも、〇〇の場所が見えるのはいつかといった逆引きをするのには不向きで、アナログ方式も直感的で捨てがたいのではと思っています。



講演会を企画すること いったん馬力でなんとか辿り着きました

去る5月26日(土)に、松阪市天文台30周年記念事業として同天文台実行委員会の主催でみえこどもの城ドームシアターを会場に JAXA 宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクトチーム併任の岩田隆浩准教授をお招きして「はやぶさとかがやで探る太陽系の謎」と題する講演会を開催しました。開催にあたっては、事前調整等の事務は私のほうで引き受け、当日のステージ部分はみえこどもの城が、来客関係は天文台指導員が、それぞれ役割分担して活躍いただき、成功裏に終了することができました。あと1月もするとはやぶさ2が目的地リュウグウに到着して大きな話題になっているはずで、これに先駆けて講演会を開催できたのはとても良かったと思っています。いやそれにしても皆様たいへんお疲れさまでした。



編集雑記

先月も書いたとおり、今年の2月から5月にかけて自宅のマンションの大規模修繕が行われていたため、ベランダからの星見が全くできない期間が続きました。4月末に工事が終わって天幕と仮設やぐらの解体が徐々に進んで、我が家の前の見通しが良くなったちょうど翌日にダイヤモンド富士の日がやってきました。またも滑り込みでありましたが、なかなかチャンスが少ない天文現象をいろいろと見せてくれるこのベランダはとても大切な場所です。

